

「やってくるもの・流れ出すもの・身体から身体へ」



堀川久子・音楽と踊るシリーズ 3
川合AKAさんの即興

私は高校時代に音楽の即興演奏に出会い、
即興することに引き寄せられた。
合わせるだけでなく、
個人それぞれが独立して、
出会ったり、出逢わなかったり、
ずれたり、追いかけたり、
そこには中心がないというか、
中心が移動していく関係でもあり、
常に新しい関係を模索していく瞬間の連続だ。
その個と自由のあり方は、生活の現場、
そして社会を考える意味でも、
自分にとってはとても重要なものになっていた。
即興するために、身体を覚醒したくて踊りに出会った。
今回の相棒は、高田在住の川合AKAさん。
長い間チェンバロを演奏されてきたが、
肩に支障が生じ演奏することを断念、
違った形での音楽を模索。それを彼女は気配の音と呼ぶ。
どんな気配がやってくるでしょうか？
どうぞ、私たちと空気をともにしてください
堀川久子

〈本公演は2021年9月に開催予定し、延期されていたものです〉



撮影：風間 忠雄

踊り声
堀川久子

川合AKA

気配の音



堀川久子 ほりかわひさこ

新潟市に生まれる。美学校・小杉武久音楽教場で即興を志す。舞踊家・田中泫の主宰した身体気象研究所、農場、舞塾などでの20年の活動の後、1998年に新潟市に帰郷。新潟市を拠点にヨーロッパでも活動しながら踊っている。場所に生まれる踊り、人、物との間に生まれる踊り、外界の要素を身体に取り込みながら、そこに生まれてくるものを眺めていく。野外の様々な場所でも踊ってきた。美術・音楽・語り芸など様々なアートとの共同作業も多い。知的障害を持つ人々とのワークショップも模索しながら長年続けている。郷土の伝統芸能を訪ね歩いている。なにげない1ミリ隣に新たな踊りが潜んでいる。

川合AKA かわいあか

高校・大学で音楽を専攻。古楽の演奏活動と共に1982年からは『ヴァリエテ』『サラスヴァティ』『のいづんずり』『分裂』等、インディーズシーンで活動。'90年即興ユニット『paraplegik a-r-t cluster』開始、2001年Roedeliusとのコラボレーションを機にPAKに改称、多彩なゲストを招き『PAK+』を展開。ほか即興活動としては、『モルガナ実験室』にて多様な音楽ジャンルの面々と演奏・交流。舞踏、演劇、朗読などとのセッションも多数。舞踏では、えーりじゅん、招魂舎痴明、麻吹sable、Abe M'ARIA 等と共演。2016年上越市高田に移住。2018年「大由鬼山コンサート：玄風」第二部で大由鬼山と共演。2021年〈気配〉を主題に置く。三弦、パーカッション類、the Stick、アナログシンセ、ほか。



砂丘館

山形県新庄市砂丘館

指定管理者：新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体

2021

12/10 金曜 19:00 | 11/11 土曜 14:00/18:00 | 12/12 日曜 11:00/15:00

全5回公演/要申込

一般2,000円/高大生1,500円/小中学生無料/2回目以降のご参加は200円引(定員：各回16名)

①希望日時 ②連絡先電話番号 ③人数を添えてTEL、FAX、E-mailで砂丘館へお申込ください。

●申込受付開始11/10 ●TEL.FAX. 025-222-2676 ●E-mail yoyaku@bz04.plala.or.jp

会場：砂丘館 新潟市中央区西大畑町5218-1(新潟駅万代口より浜浦町線C2系統又は観光循環バス「西大畑坂上」下車徒歩1分)

砂丘館には駐車場がありません。また、周辺の道路は駐車禁止です。公共交通機関をご利用ください。

新潟市西堀地下駐車場をご利用の方は駐車券提示にて1時間分の無料券を差し上げます。

主催：砂丘館

私たちは砂丘館の自主事業を応援しています。

ありれ株式会社 NSGグループ ISHIKAWA 新潟ビルサービス 丸屋本店 藤田金属 WIND 郷土の文化に親しむ会

*新型コロナウイルス感染予防対策を講じて開催いたします。*ご参加にあたってはマスクの着用をお願いいたします。また当日検温を実施させていただきます。